

分子標的薬(イレッサ、タルセバ、ジオトリフ、タグリツソ) を服用している患者さんやご家族へ

服用するときの注意点

- 市販薬、サプリメントや健康食品を摂取する場合は、医師または薬剤師にご相談ください。
- 分子標的薬を処方された病院以外の医療機関を受診される時は、分子標的薬を服用していることを医師または薬剤師にご相談ください。

注意が必要な副作用の症状

以下のような症状がみられたら、すぐにご来院またはお近くの医療機関を受診してください。

間質性肺疾患

- 階段を上ったり、少し歩いただけで息切れしたり呼吸が苦しくなる
- 空咳（痰がない咳）が続く
- 発熱



肝機能障害

- 体がだるい
- 尿の色が濃い
- 皮膚や白目が黄色い



徐脈(QT延長)

- 動悸、めまいがひどい
- 気を失う



現れやすい副作用の症状

症状がつらく日常生活でお困りの場合、医師や薬剤師にご連絡ください。

皮膚症状(発疹・乾燥・かゆみ)、 爪の異常(周囲の炎症・腫れ・亀裂)

- 皮膚や爪の症状が改善しない
- 皮膚や爪の症状によって、日常生活に支障がある



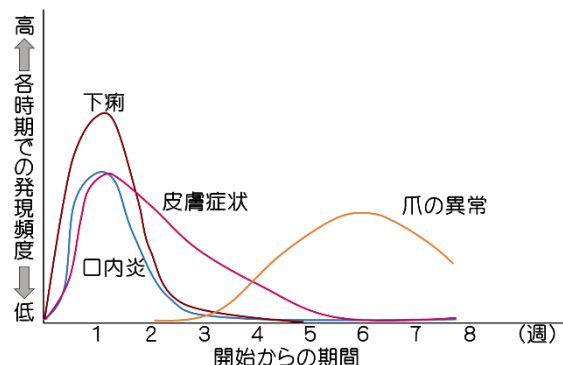
下痢

- 下痢止めを服用しても改善しない
- 下痢に加えて発熱、めまい、けいれんが出る
- 水分補給ができない、食事がとれない



副作用の現れやすい時期の目安

副作用には個人差があるため、
図の副作用や時期以外にも現れる
ことがあります



下痢のときの対応策

下痢止め

- 担当医の指示に従い、下痢止めを服用してください
- 処方された下痢止めがある場合、すぐに飲めるように携帯しましょう



お尻のケア

- 温水洗浄便座で洗浄したり、お尻用のウェットティッシュで押さえるように拭きます
- 痛みやかゆみなどがある場合はご相談ください

水分補給

- 水やお茶、スポーツドリンクなどで、こまめに水分をとりましょう



食事

- 煮る、蒸すなど、油分が少なく消化がよい調理法がおすすめです
- 少量ずつでも炭水化物、野菜、たんぱく質、果物をバランスよくとりましょう
- 食欲がないときは、自分が食べたいものを優先的にとりましょう
- 食事制限のある場合は主治医の指示に従ってください
- 下痢の症状がひどいときは、乳製品（牛乳、ヨーグルトなど）、繊維質を多く含むもの（海藻、イモ、ゴボウ、玄米など）、油分を多く含むもの（揚げ物など）、刺激が強いもの（香辛料、コーヒー、アルコールなど）は控えましょう



スキンケアについて

治療中の肌は、保湿機能が弱まり、紫外線や擦れなどの刺激に敏感な状態になっているため、スキンケアが大切です。

清潔を保つ

- よく泡立てた石けんで、なでるように洗います
- 水やぬるま湯で十分にすすぎます
- 水分は、柔らかいタオルで押さえるように拭きましょう



保湿

- 低刺激性の市販のもの、または処方された保湿剤を使用してください
- 皮膚を清潔にした後（入浴、洗顔、手洗い後）、体全体に塗ります
- 乾燥しているところ、手足や指先、爪の周囲には1日に何度もこまめに塗りましょう



刺激を避ける

- 紫外線を避けましょう。長袖の衣服や、低刺激性の日焼け止め（SPF30以上、PA++以上、紫外線吸収剤フリー、ケミカルフリー）を使用してください
- 衣服や靴はピタッとせず、ゆったりとしたものを選択しましょう
- お化粧は外出時のみにするなど、なるべくしない時間を多くしましょう
- 髭剃りは、カミソリはなるべく避け、電気シェーバーを使用しましょう



皮膚症状の治療について

- 外用剤を塗る順番は、保湿剤 ⇒ ステロイド剤の順番です
- ステロイド剤は1日2回もしくは医師の指示どおり、皮膚に擦り込むのではなく、刺激を与えないようにやさしく塗ってください
- 症状が良くなってきたからといって、医師の指示なくステロイド剤の使用を止めないでください。症状が悪化してしまう可能性があります



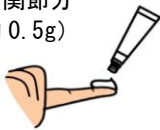
スキンケアのポイント

軟膏・クリーム・ローションの必要量

大人の手2枚分くらいの広さの患部に対して塗るときの目安

軟膏・クリームのチューブの場合

第一関節分
(約0.5g)





ローションの場合

1円玉程度の大きさ





顔と首

軟膏・クリーム  × 2.5 本分
ローション  × 2.5 枚分





下肢(両下肢)

軟膏・クリーム  × 6 (12) 本分
ローション  × 6 (12) 枚分






手(両手)

軟膏・クリーム  × 1 (2) 本分
ローション  × 1 (2) 枚分





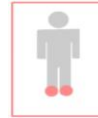
片腕(両腕)

軟膏・クリーム   × 3 (6) 本分
ローション  × 3 (6) 枚分





体幹前面もしくは背面(前後合わせて)

軟膏・クリーム  × 7 (14) 本分
ローション  × 7 (14) 枚分

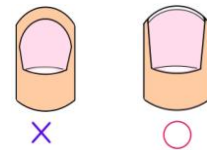


足(両足)

軟膏・クリーム  × 2 (4) 本分
ローション  × 2 (4) 枚分

爪の切り方(スクエアカット)

- 爪は長く伸ばしてまっすぐに切ります
- 角はヤスリで削るとさらに良いといわれています



爪の周囲の痛みをやわらげる方法(テーピング法)

- 爪が周囲の皮膚や肉芽(赤くやわらかく腫れた部分)にくい込んでいる場合に行います
- 血がめぐりにくくならないように伸縮性のある布製の絆創膏を使用します
- 爪がくい込んでいる部分を爪に当たらないようにテープで引っ張りながら、らせん状に巻きつけます

